

労福協東部支部 第8回労福協まつり



12月2日（日）に鳥取産業体育館で開催しました。

多くのチビッ子で大にぎわいでした。



第59回労働者美術展

12月19日より24日までとりぎん文化会館で6日間の会期でしたが1,000人以上の方に御来場いただきました。（写真は、表彰式と会場の風景です。）



第277号 もくじ

新年ご挨拶	2～3
第23回囲碁・将棋大会 開催のご案内	3
第49回鳥取県労働者スポーツ祭典結果表	4
2012年度第1回全県研修会開催報告	5
2012年西部労福協第31回研究集会参加報告	5
第8回労福協まつりを開催しました	6
第21回全国ボランティアフェスティバルみえ報告書	6
福祉カンパ活動実施中	7
「THE社会人」ハンドブック発行	7
産業カウンセラーによる休日相談会のお知らせ	7
第59回鳥取県労働者美術展	8



新年ご挨拶



財団法人鳥取県労働者福祉協議会
理事長 **前田 厚彦**

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は労福協運動に格別のご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございました。

右傾化する政治と先行き不透明な経済情勢の中、県内の勤労者・生活者を取り巻く生活環境は依然として厳しいものとなっています。しかしそのような時だからこそ、労福協の理念である「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現」を目指していくかなければなりません。共に支え合いながら労働者福祉運動を更に推進させましょう。

皆様のご多幸と、一日も早い福島県をはじめとした東北地方の復興をお祈りし、新年のご挨拶といたします。



日本労働組合総連合会鳥取県連合会
会長 **五十嵐美知義**

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、ご家族お揃いで、健やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより連合鳥取の運動に対しまして、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本経済は、復興需要を背景に緩やかに回復しつつあると言われていましたが、欧州の債務問題の長期化や中国・インドをはじめとする新興経済の減速や原油等の価格の上昇、円高進行等、相俟つて予断を許さない状況が続きました。加えて、この鳥取県において中小零細企業はもとより、大手企業においても大規模な企業再編や合理化等により離職者が発生し、地域経済・雇用環境に大きな影響を及ぼしました。

そうした中で、連合は、努力すれば報われる社会、働くことに最も重要な価値を置く「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け取り組みを進めています。加えて、地域においても、労働福祉団体の皆さんと連携し、すべての働く人たちへ、「共助」となる労働者自主福祉事業の強化と充実を図らなければなりません。

連合は、労福協の皆さんと共に、社会のインフラとなるよう、さらなる連合運動の強化と、地域に顔の見える運動を進めてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2013年が皆さまにとって、素晴らしい年になることをお祈りし、新年のごあいさつと致します。



中国労働金庫鳥取県営業本部
本部長 **福田 光明**

新年おめでとうございます。
昨年の日本経済は、長期化する円高やデフレの影響に加え、世界的な景気減速、中国での反日運動の影響等により、後退感が強まりました。中国地方においても、企業の経営破たんや業績悪化により、生産拠点の閉鎖や再編が顕在化しており、雇用不安の増大や所得の減少など、勤労者を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

私たち労働金庫は、「働く者の助け合い」で誕生した金融機関であることを常に原点に置き、今こそ、会員・構成員の相談・支援活動に精一杯取り組んでいきます。そして、「もっと、ずっと、つながるろうきん」のスローガンのもとに、皆様に一層「信頼され頼りになる勤労者福祉金融機関」をめざします。また、ろうきんを利用することで社会に貢献できる仕組みを充実させると共に、次世代システム移行(2014年1月)に向けて、皆様のご理解・ご協力のもと万全を期して準備を進めていきます。

2013年度は、中国労金設立10周年という節目の年に当たり、役職員一丸となって邁進していく所存です。引き続いでのご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が、より安心して暮らせる社会でありますよう、そして、皆様にとって一層の飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。



全労済鳥取県本部
本部長 **小東 照久**

謹んで新春のお慶びを申しあげます。
皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

旧年中は、全労済鳥取県本部の運動に、格段のご理解とご協力を賜りました。役職員一同を代表し深く感謝申しあげます。

さて、県内における事業を取り巻く環境は、少子高齢化の影響はもとより、職域における企業の再編や事業の撤退・閉鎖などによって厳しい状況にあります。

雇用や年金、医療・介護など、生活者の将来への不安が増大する中、全労済は「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念として掲げながら、「**ONLINE計画**」を策定し、“組合員1万人との対話・対面運動”を展開しています。

また、火災共済や自然災害共済をはじめとする各種共済が、安心して暮らせる生活の支えとなりその役割を果たせますよう、「たすけあい・共助」の精神に立ち、事業と運動を積み重ねてまいります。

本年も変わらぬご支援・ご協力をお願ひいたしますとともに、皆さまにとってすばらしい年となりますようお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



鳥取県生活協同組合

理事長 浜江 隆二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当組合の事業や活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、国連が定めた「国際協同組合年」にあたり、県内においても実行委員会を組織し社会的認知度の向上等にむけた取り組みをすすめてきました。

普段の暮らしを巡る状況が一層難しさを増し、社会の不安や閉塞感が増大する現代社会の中で、人と人がつながって助け合う（参加・連帯・協同）ことが一層価値を持ち大切なものになってきています。今後も諸団体の皆様と連携を強め、協同組合がその受け皿の一端となれるよう皆様と一緒に力を合わせ活動をすすめてまいりたいと存じますので、引き続きご支援を宜しくお願い致します。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



鳥取医療生活協同組合

組合長理事 守山 泰生

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は鳥取医療生協は創立60周年の成果を確信に、新たな挑戦を始めた年でした。県内2市8町と「地域見守り活動支援事業」協定締結、生協病院・鹿野温泉病院の施設転換、生協くらよし会館の介護事業開始、旧生協病院取壊し準備などです。また、健康づくり運動が大きく広がった年でもありました。「原発ゼロ」をめざす活動、福島復興支援も本格的に取り組んでいます。

人と人の協同の力で、健康で平和なまち、いのち輝くまち、鳥取をつくるために、事業と運動の両面で役割發揮をしていきます。

皆様にとりまして、よき年になるよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



鳥取県労福協東部支部

支部長 森脇 一也

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は鳥取県労働者福祉協議会東部支部の活動につきまして、格別のご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。



第23回

鳥取県労福協
囲碁・将棋大会開催のご案内

開催日時	2013年2月3日（日）受付10時 開会10時20分
開催場所	「まなびタウンとうはく」東伯郡琴浦町徳万266-5（浦安駅東隣）電話0858-52-1111
申込先	<p>□労福協東部支部 〒680-0847鳥取市天神町30-5 鳥取県労働会館3階 電話0857-27-4188 FAX0857-24-8149 e-mail tottori@roufuku.jp</p> <p>□労福協中部支部 〒682-0804倉吉市東昭和町286-2 電話0858-23-7205 FAX0858-23-7206</p> <p>□労福協西部支部 〒683-0067米子市東町189-2 西部労働者福祉会館2階 電話0859-23-2030 FAX0859-23-2090</p>

※今年度から県大会のみの実施となりましたが、お申し込みは各支部へお願い致します。

鳥取県労福協 第49回鳥取県労働者スポーツ祭典 結果表

★総合開会式 (10月14日/琴浦町総合体育館)



主催者代表挨拶

鳥取県労福協
前田 厚彦 理事長



来賓挨拶

連合鳥取事務局長
田中 穂 様



来賓挨拶

鳥取県 労働政策室
室長 小林 紗子 様



選手宣誓

吉川 貴博 選手
(オムロンスイッチアンドデバイス労組)

★各競技試合風景



軟式野球



ソフトボール



バドミントン



バレーボール (男子)



バレーボール (女子)



卓球



ボウリング



フットサル



グラウンドゴルフ

★各種目優勝チーム (最優秀選手)

今年の大会は、中部地区を中心開催しました。大会の結果は、下記のとおりです。入賞された皆様おめでとうございます。

種 目	競技会場	優 勝	最優秀選手賞
軟 式 野 球	三 朝 球 場	県 職 東 部	山本 優明 (県職東部)
ソ フ ト ボ ー ル	倉吉東高第2グラウンド	日庄スーパー技術ノロジーズ労組	山崎 龍大 (日庄スーパー技術ノロジーズ労組)
バ ド ミ ン ト ン	三 朝 町 総 合 ス ポ ー ツ セ セ ナ ト ー	日庄スーパー技術ノロジーズ労組	吉田 実保 (日庄スーパー技術ノロジーズ労組)
バ レ ー ボ ー ル 男 子	琴 浦 町 総 合 体 育 館	高 教 組 東 部 支 部	山田 晃功 (高教組東部支部)
バ レ ー ボ ー ル 女 子		グ ッ ド ヒ ル 労 組	森谷 千明 (グッドヒル労組)
卓 球	B&G 海 洋 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	王 子 製 紙 新 労 B	中嶋 達也 (王子製紙新労)
グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ	潮 風 の 丘 と ま り	東 部 環 境 管 理 公 社	壹岐 哲彦 (東部環境管理公社)
ボ ウ リ ン グ	倉 吉 プ ラ ザ ボ ウ ル	全 水 道 米 子 A	尾崎 一文 (オムロン倉吉労組) 松田 紀子 (全水道米子支部)
フ ッ ト サ ル	倉吉市営体育センター	日庄スーパー技術ノロジーズ労組	保田 拓也 (日庄スーパー技術ノロジーズ労組)

2012年度 第1回全県研修会

とき 2012年11月10日（土）開会9時30分より

ところ 中部教育会館（倉吉市）

今回のテーマは、「協同組合の原点、賀川豊彦から学ぶ～国際協同組合年によせて～」と題して、賀川豊彦記念松沢資料館副館長の杉浦秀典さんをお招きし、ご講演いただきました。参加者は、事業団体（労金・全労済・県生協・医療生協）職員、各労働組合員80名の参加となりました。



杉浦秀典 講師

講演では、前段に協同組合運動の歴史と賀川豊彦の足跡を紹介した記録DVDが放映され、活動の詳細を知るきっかけとなりました。

また、中央労福協では協同組合と労働組合の連携強化で共助・連帯の輪を社会に広げよう！のキャンペーンリーフレットを作成しとりくんでいますが、講演内容と共感することが確認できた研修会でした。



中国労金倉吉支店 磯江次長



全労済県本部東部支所 蒲原支所長

引き続き、事業団体報告として中国労金、全労済からキャンペーンや事業等についての報告がありました。

閉会は、中部支部平信支部長から参加のお礼の挨拶が述べられ全県研修会を終了しました。

2012年西部労福協

第31回 研究集会参加報告

2012年11月1日～2日の二日間、愛媛県松山市を会場に第31回西部労福協研究集会が約160名の参加者のもと開催され、鳥取県からは東部・中部・西部の労福協各支部から5名が参加しました。

今回は、2012年国際協同組合年にちなみ「国際協同組合年を考える」を主要テーマに研修が行われました。講師の富沢一橋大学教授からは、かつて自身が同大の労組委員長だった頃のエピソードも交えながら、協同組合の過去・現在・未来について講演され、その中で協同とは、お互いが助け合う相互扶助の精神とその実践であり、ろうきんや全労済の活動はそれに相応しいものである。今後一層、この自助・共助・公助の三者のより精緻な関係が社会の安定と発展の確保につながるとあり、協同組織の福祉事業に携わる一員として、心強いエールをいただいた思いで大変ありがとうございました。

その他にも地元「えひめ・協同まちづくりネットワーク」の活動報告、「南海地震への日頃の備え」など、とても興味深く有意義な講演であり、貴重な研修機会となりました。



報告:中島 一彦 (労福協東部支部)

東部支部

第8回

労福協まつり

12月2日
@鳥取産業体育館

組合員とその家族に限定せず広く県民に開かれたもの、特に子ども連れの方をメインゲットとなるよう企画し、「かいけつゾロリ」のキャラクターショーやゲームコーナーの他、地産地消・東北震災復興応援・地元福祉作業所の各販売コーナー等を設けました。事務局の目標を上回る約500の方にご来場いただきました。特に親ガニの販売コーナーには、開会前から長蛇の列ができるほど盛況でした。

参加した方から「よかったよ」という口コミが広がり、今後、地域の皆さんに楽しみにしていただけるイベントに育っていけば、喜ばしい限りです。

(東部支部 事務局)

**第21回
全国ボランティアフェスティバル**

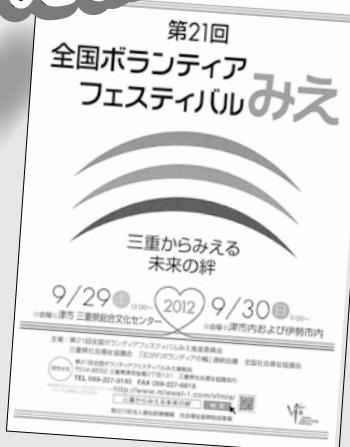
みえ報告書

9月29日（土）～9月30日（日）までの2日間、三重県津市で開催された第21回全国ボランティアフェスティバルに参加した。フェスティバルの最初のプログラムであるテーマトークでは三重県知事等によるパネルディスカッションが行われ、日頃ボランティア活動に携わる2名のパネリストを加えて議論が交わされた。

その中で印象に残ったのは日本でのボランティアの意識は平成7年の阪神大震災を機に高まりを見せた。それまでは個々がサークルのような趣味の領域で行われていた。しかしながら、17年経った今でも大災害が起こった時に民間のボランティア団体が被災地に入れないなどの課題は多いということだった。また、今の当たり前の生活が当たり前では無いと一人一人が自覚をし、当たり前の生活を我々の努力によって維持していくなくてはならない。そのためには若年層（子ども）が積極的に地域のボランティア活動に参画できるしくみを整えていくことが重要であることがわかった。

フェスティバルではその後、人情集団An-Pon-Tanによるミュージカルや、2日目には各会場で様々な分科会がおこなわれ、有意義な会であった。

最後に、我々が日頃平穡に暮らしていくのは、地道な活動をされている様々な人々のおかげである。私自身もそれを見ている観客では無くその中心の一人にならなければならぬと感じた2日間であった。



報告：大江 明（労福協西部支部）

福祉カンパ活動実施中

将来を担う子どもたちが豊かな生活を送るために
多くの皆様からカンパのご協力を頂いています！
毎年ありがとうございます。



これまでの実績*****

集まったカンパ金で、下記の支援を行いました。

- 2011年度 県内の施設公立図書館・県内保育園等(257カ所)に交通安全啓発絵本「ジャンボ絵本まもるくん」贈呈
- 2010年度 県内の子どもにかかわる福祉施設に寄付
- 2009年度 県内保育園等(202ヶ所)に「交通安全啓発用エプロン」を贈呈
- 2008年度 県内小・中・保育園に交通安全横断旗「黄旗」を贈呈
- 1979年度から2007年度までは、交通遺児へ就学奨励金を贈呈

THE社会人ハンドブック発行

2012年版

—これから働きはじめるあなたへ—

労働トラブルの未然防止を目的として、労働法の基本的な知識やルールを分かりやすくまとめたハンドブック『THE社会人 これから働きはじめるあなたへ(2012年度版)』を作成いたしました。

冊数が必要な場合は、事務局までお問い合わせください。



事務局・連絡先

(財)鳥取県労働者福祉協議会
〒680-0847 鳥取市天神町30-5
鳥取県労働会館3階
TEL 0857-27-4188
FAX 0857-24-8149

あなたのココロが
グ～ンとラクになりますよ
カウンセラーによる

休日相談会

家族・知人のこと 子どもの悩み つらい・・・ くるしい・・・
産業カウンセラーにゆっくり話してみませんか？

ご希望の方は、ライフサポートセンターとつとり事務局までご連絡を！

相談無料
秘密厳守

2月24日(日)
午前9:30～午後3:00
米子コンベンションセンター
第4会議室
(米子市末広町294)

(財)鳥取県労働者福祉協議会 ライフサポートセンターとつとり事務局

電話0120-82-5858 / FAX 0857-32-5454 / Eメールsoudan5454@shore.ocn.ne.jp

第59回 鳥取県勤労者美術展

写真 洋画 日本画 書道
会期2012年12月19日(水) ~ 24日(祝月)
とりぎん文化会館

鳥取県知事賞

写真部門



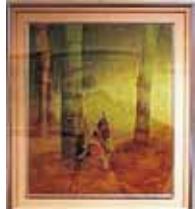
「エゴイスト」
みやもと きょうこ 様
(江府町)

洋画部門



「水面は秋色」
なかじま ひろこ 様
(鳥取市)

日本画部門



「萌」
あきやま つや子 様
(鳥取市)

書道部門



「張鎬詩」
谷口 留仙 様
(鳥取市)

鳥取県労働者福祉
協議会理事長賞

写真部門



「旗の躍動」
たけいし まさひで 様
(北栄町)

洋画部門



「豊かさのかけで」
もといけ ゆりこ 様
(米子市)

日本画部門



「初夏」
とくだ さんじゅう 様
(鳥取市)

書道部門



「書譜語」
中林 静雲 様
(鳥取市)

鳥取県経営者協会会長賞

部門

題名

雅号又は氏名

住所

鳥取県労働金庫鳥取県営業本部本部長賞

鳥取県商工会議所連合会賞

鳥取県商工会連合会会長賞

鳥取県中小企業団体中央会賞

全労済鳥取県本部本部長賞

連合鳥取会長賞

発行責任者 前田厚彦 編集責任者 小泉俊一
発行日 二〇一三年一月 発行 鳥取市天神町三〇番地五
(財)鳥取県労働者福祉協議会 第277号
TEL(0857)271-4188